

平成22年8月15日

発行 青梅市文化財保護指導員連絡協議会

青梅市郷土博物館（青梅市駒木町1-684 TEL0428-23-6859）

青梅市内の忠魂碑（その1）

今から65年前の昭和20年8月15日、多くの犠牲者を出した「太平洋戦争」も日本の無条件降伏という形で終戦しました。戦後65年、日本は世界の奇跡といわれるまでの経済発展を遂げましたが、この発展の裏には、国のために命を落としていった多くの方々がいたことを忘れてはならないと思います。

今回は8月15日にちなんで市内各地にある忠魂碑について取り上げてみました。紙面の関係で全部は載せ切れませんでしたので、続きは次号に回したいと思います。

掲載に当たり①所在地、②旧町村名、③建立場所、④碑の規模や材質等、⑤刻印された署名者と肩書き、⑥刻印された建立年月日、⑦刻印された建立者、⑧刻印された碑文、⑨刻印された戦没者数、⑩祭祀管理者等という具合に整理してみました。



1 「殉国の英霊を此処に祀る」

- ①青梅217番地、②旧青梅町、③永山公園
- ④超大型白色花崗岩造、⑤靖国神社宮司「筑波 藤麿」書
- ⑥昭和34年9月建立、⑦市忠霊塔建設委員会・調友会・防衛協会調布支部・調布地区遺族会・第2婦人会建立



2 「忠魂碑」

- ①青梅217番地、②旧青梅町、③永山公園
- ④大型自然石、⑤元帥海軍大将「東郷 平八郎」書
- ⑥大正7年4月建立、⑦在郷軍人会青梅町分会建立



3 「戦没者慰霊の碑」

- ①新町418番地、②旧霞村
- ③東禅寺、④大型変形自然石
- ⑤「建長 素堂」書、⑥昭和48年3月建立



4 「慰霊塔」

- ①梅郷 3-754-1、②旧吉野村
- ③梅郷市民センター、④大型変形白色花崗岩構造
- ⑤靖国神社宮司「筑波 藤麿」書、⑥昭和55年3月建立



5 「表忠碑」

- ①梅郷 3-754-1、②旧吉野村、③梅郷市民センター
- ④大型自然石台座付、⑤元帥公爵「大山 巖」書
- ⑥明治40年10月16日建立、⑦西多摩郡吉野村建立



6 「英霊之名碑」

- ①梅郷 3-754-1、②旧吉野村、③梅郷市民センター
- ④大型方形加工石造、⑥昭和29年9月30日建立
- ⑦吉野村慰霊塔建設委員会建立、⑧撰録……（前略）聖地を選び慰霊塔を建設するものなり。明治維新以来の戦没者の芳名を後世に残すべくこの碑もあわせ建設するものである。……（後略）
- ⑨裏面戦没者芳名刻印

【解説】

紙面の都合で6つしか載せられませんでした。調査をしてみて、いくつかわかったことがあります。碑は明治末期から大正初めにかけて建てられた物と、昭和30年前後に建てられた物とに大別できます。前者は主に日清、日露戦争の戦没者を、後者は主に太平洋戦争の戦没者を祀っています。

青梅市は昭和26年に誕生し、その後周辺の4カ村が合併して昭和29年に現在の市域ができあがります。1の永山公園にある「殉国の英霊を此処に祀る」の碑は現在の青梅市全体の戦没者の碑ですが、他の碑は皆青梅市が誕生する以前の旧村の戦没者の碑です。（3の「戦没者慰霊の碑」はもっと範囲が狭く、旧霞村の中の新町地区だけの碑です。）

これだけの物を建てるには地域の経済力がないとなかなかできることではありませんが、今日の我々の暮らしがあるのも、これら戦没者のお陰であることを忘れてはならないと思います。

〈参考文献〉靖国神社編『東京都忠魂碑等建立調査集』

（文責 神森 正）